



## 兵庫県立 三田西陵高等学校

自主・創造・飛翔



## 1 月行事

食堂  
営業

1	水		
2	木		
3	金		
4	土		
5	日		
6	月	仕事始め 冬季補習・冬季図書館開館 (～1/7)	
7	火		
8	水	大掃除 始業式 課題考査	
9	木	課題考査	○
10	金	カウンセリング (2～4 限)	○
11	土		
12	日		
13	月	成人の日	
14	火		○
15	水		○
16	木		○
17	金	震災追悼行事 (SHR) 2年実力テスト 2年修学旅行荷物発送 (登校前)	○
18	土	センター試験 1・2年実力テスト	
19	日	センター試験	
20	月	センター試験自己採点 (午前) 3年午前中授業	○
21	火	3年学年末① FM 2年4限LHR (5・6限カット) 教育入門Ⅰ 幼・保実習 (3・4限)	○
22	水	3年学年末② 2年修学旅行①	○
23	木	3年学年末③ 2年修学旅行② 1年カルタ大会 (7限LHR)	○
24	金	3年学年末④ 2年修学旅行③	○
25	土	2年修学旅行④	
26	日		
27	月	3年自由登校～ (1/30登校日を除く2/26まで) 2年代休	○
28	火	教育入門Ⅰ 幼・保実習 (3・4限) 2年総合「課題研究」 全体発表会 (6限体育館)	○
29	水	教育入門Ⅱ 小学校実習 (5・6限)	○
30	木	3年登校日	○
31	金	カウンセリング (2～4 限) 漢字検定実施日	○

## 「てっぺんを目指そう部活動」

12月13日(金)オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業として、北京オリンピック陸上競技女子5000mに出場された小林祐梨子さんに来ていただき、「夢に向かって ～今できること今しかできないこと」という演題で講演会を実施しました。

講演では、目標を持つ大切さや目標の立て方、そして、人との絆の大切さを、小林さんの競技生活に関するお話を通して教えていただきました。お話は、ご自身の挫折の経験など、とても重くて深い内容でしたが、そのことをまっすぐに捉

## 校長 田畑 吉三

えた小林さんの人柄を感じさせ、てっぺんを目指し部活動に取り組む生徒にとって、とても意義深いもので、私は、そのお話しに引き込まれていました。

とくに、部員23名とマネージャー、顧問の先生25名で勝ち取られた3年生のときの全国高校駅伝優勝のゴールテープを切られたときのパフォーマンスのお話は、とても感動的でした。

それでは、皆さん、小林さんのお話から学んだものを一つでも生かしてください。皆さんの大活躍を期待しています。

第3回オープン・  
ハイスクール 開催

11月16日(土)に、第3回オープン・ハイスクールを実施しました。13時15分から受付が始まり、各中学校から生徒さんや保護者の方々が数多く参加してくださいました。当日の参加者数は、おおよそ220名となりました。



13時45分から全体会を体育館にて実施しました。全体会プログラムは、校長あいさつ、教頭による「学校概要の説明」、教育推進部長による本校の特色である「子どもみらい類型の説明」、教務部長による「教育課程の説明」でしたが、スライドを使用しながら丁寧に進めていきました。

説明が終了したあと、14時15分から授業見学に移行しました。今回は本校の教員が中学生の皆さんに体験授業をするのではなく、本校生徒への通常授業を見学していただきました。ただし、1～3年の通常授業をすべて見学

していただくには時間的制約があるので、参加者の皆さんに9グループに分かれていただき、各グループ2～3の授業を見学していただきました。

授業見学が終了したあと、すべてのグループが食堂に集まり、15時15分から連絡会を実施しました。この連絡会では、部活動見学の確認とアンケートの依頼を行いました。各部活動見学へ分かれる前に、中学生の皆さんと保護者の方々に向けて生徒会執行部・運動部長・文化部長からのメッセージを動画で紹介しました。この動画の作成には学校家庭クラブが尽力してくれました。15時40分からは部活動見学と個人別相談会を実施し、自由解散としました。16時30分に終了の放送をし、今年度最後のオープン・ハイスクールが無事終わりました。



当日は、たくさんの方々にお越しいただきまして、ありがとうございました。アンケートを参考にしながら、今後のオープン・ハイスクールの実施などに活用していきたいと思います。

多くの中学生の皆さんが来年度から本校に入学してくれることを心待ちにしております。





## 図書委員会活動「ブックカフェ」

11月22日（金）放課後15:40から本校の図書室にて「ブックカフェ」を実施しました。

本来、図書室では私語を禁止していたり図書を汚損しないように飲食を禁止していたりして「図書室でカフェというのはどうということなのだろう」と疑問に思われる方々もいらっしゃると思います。「ブックカフェ」を実施する目的としては、図書室をリラックスできる雰囲気にする事で、図書室に気兼ねなく足を運ぶ生徒を増やし、学校の図書活動を活発にしようという狙いがあります。



今回の「ブックカフェ」では図書委員だけでなく本校の文化部や本年度の教育実習生、本校職員が協力して活気のある活動ができました。その様子を紹介したいと思います。

司会は11月の「ミニコンサート」に続いて放送部が担当しました。まず図書委員長のあいさつがありました。

続いて、ビブリオトークとして、1年生の図書委員2名が本の紹介をしました。紹介した本は宮下奈都さんの『羊と鋼の森』、東野圭吾さんの『手紙』で、本の魅



力がよく伝わりました。

次に、令和元年度兵庫県高校生英語スピーチコンテスト丹有地区大会で優勝した本校生徒の英語スピーチが行われ、見事なスピーチに聞入りました。

続いて、本年度教育実習生でもあった2名の本校卒業生から本の紹介がありました。紹介されたのは、有川浩さんの『フリーター、家を買う』、椎名軽穂さんの『恋愛短編集 青いふたり』でした。ここまでが前半です。

後半は音楽が中心でした。まず、本校の音楽科目を担当する職員による独唱です。曲は北原白秋作詞・山田耕筰作曲の「この道」、ヘンデル作曲の「オンブラマイフ」

で、迫力ある美声が図書館に響きました。

そして、プログラムの最後は吹奏楽部の演奏です。12月のアンサンブルフェスティバルに向けて練習している「金管6重奏」「サクソ3重奏」が演奏され、美しい音色で図書室が包まれました。



発表以外にも、茶華道部によるお抹茶の提供、調理部による本の形を模したクッキーの提供、本校事務長と図書委員によるサイフォンコーヒーや紅茶の提供が行われ、大盛況でした。



今後の活動については、本校の職員、3年学年主任の井上、2年担任の陰山によるテーブルスピーチなども実施予定です。その様子も次号で紹介したいと思います。今後も図書室関係の行事を計画しておりますので、本校のHPをご確認ください。ご連絡いただければ、一般の方が参加いただける活動も準備しています。

## 防災学習会

11月21日（木）7限LHRの時間を使って、全学年で防災学習会を実施しました。講師は「人と防災未来センター」からお越しいただきました河田慈人研究員で、テーマは「みんなで考える防災・減災」でした。

ご自身に関わられた研修会の様子を動画で紹介され、警報の区分や避難指示がどれくらい危険であるのかなど画像を提示しながらわかりやすく説明してくださいました。

さらにクロスロードと呼ばれる防災学習の手法を学習しました。ある災害に対して自分は行動するかどうか（Yes or No）で考えるというものです。それぞれの行動に考えがあって、どちらの行動にも意味があるというものです。今回の学習会でいえば、河川が氾濫の危険性を示す水位まで上昇していて、その近くにあな

た、というものがあ

○ Yesと答えた理由  
氾濫に巻き込まれないよう逃げるべき等

○ Noと答えた理由  
足の不自由な家族がおり避難所まで避難することが危険だ等（だから早めに行動すべき）

今後気をつけるべきことを具体的に紹介いただき、実り多い学習会となりました。また地域から学習会に参加してくださいました皆様、ありがとうございました。

## 生徒会活動・文化部活動

11月20日（水）、今学期2回目となる台風19号災害義援金の募金活動を実施しました。放課後、生徒会が中心となり有志で参加したソフトボール部とともに本校近くのえるむプラザとイオンウディタウン店に分かれて募金の協力を呼びかけました。

16時から17時までの一時間、お年寄りの方から小さなお子さんまで次々と募金箱に寄付金を入れてくださいました。

そのうえ、「寒い中ご苦労さま」「募金活動頑張っ

ね」など多くの方から励ましの言葉をいただき、温かい気持ちになりました。この日集まった義援金は総額40,822円で、日本赤十字社を通じて被災地に寄付させていただきます。ご協力誠にありがとうございました。

